

NEWSLETTER



6-7月号：2026年春着任教員紹介

自己紹介

公益財団法人日本交通公社（JTBF）という観光や旅行について調査研究を行う組織からの出向です。JTBFではこれまで20年以上、自らテーマ設定して行う自主研究や、国や自治体などから委託を受けて行う受託調査研究など、数多くのプロジェクトを担当してきました。観光庁という国の機関に出向していたこともあります。



サステナビリティ観光学部
菅野 正洋 教授

研究内容

これまで、様々な立場の関係者が、様々な状況の中で、様々な意思決定を行いながら、よりよい観光地を目指す場面に立ち会ってきましたので、研究対象としてもそういったプロセスに関心があります。直近の研究テーマは「大規模災害後の長期的な復興フェイズの変化に応じた観光ガイド事業の展開」です。これは東日本大震災後の数年間、東北・三陸地域で実施された事業に受託者として関わった経験が元になっています。その事業はエコツーリズムの考え方を応用し、地域関係者が自ら地域の魅力を伝える観光の仕組みを作る目的で実施されたものでした。

メッセージ

APU学部生へ

上記のように、JTBFでは学術研究と実践の連携の中で研究に取り組んできています。APUも教室の中だけでなく、実践的な学びの機会が数多く用意されています。それらをうまくとらえて、自分の関心や進む道を見出してほしいと思います。

APU大学院生へ

APUは、教員も研究、実践の両方の経験が豊富な方々が集まっています。そういった先生たちの持つ知識や経験を存分に吸収し、研究者として成長してほしいと思います。

APU志望受験生へ

アジア太平洋地域へのゲートウェイである九州、また日本有数の観光地である別府に位置するAPUは、まさに国際的・実践的な環境で自分の将来を描くことができる場所だと思います。一緒に学びあえることをお待ちしております！

自己紹介

2025年12月まで、約42年間外務省で勤めていました。外交の仕事は、政治や経済の問題について相手国政府と交渉するだけでなく、文化やスポーツ、学術交流を支援したり、日本人を保護したり、貿易や投資を促進したりなど、あらゆる分野に及びます。対外発信もとても重要です。

異なる背景を持つ人のこだわりや利害が交錯する国際社会において活動していると、困難なことにいろいろ出会います。そういう時にはそれが何事であれ、事態を直視し、常識に照らして考え、話し合うことが必要です。解決の糸口を見つけるうえで役に立つのは、相手との橋渡しを可能にする教養と、心の余裕、そして誠意です。

私にとってAPU勤務は2回目です。一度目は2020年から22年までの2年間、国際関係を教えました。今回、退職後に再びAPUで教壇に立つことになりました。今までの私の経験も皆さんの参考になるかもしれません。いろいろな問題を一緒に議論していきましょう。



アジア太平洋学部
山田 洋一郎 教授

研究内容

航国際法、人権、グローバリゼーション

メッセージ

APU学部生

私は外国で今まで27年間以上生活してきました。いろいろな国の文化や発想に触れると、そのたびに自分の視野が大きく広がるを感じてきました。そこで得られる気づきの一つ一つが人生を豊かにする経験となっています。APUは、国際社会そのもののようなユニークな大学です。在学中に感性を磨き、力を蓄えて、広い世界に雄飛してください。

APU志望受験生へ

良い大学とは？ 答えは、多様な知的刺激を与えてくれる大学、です。知的好奇心の高い学生、ヤル気のある学生が周りにいて、かつ勉強に集中できる環境を提供してくれる大学が、良い大学です。私は世界の多くの国で大学と関わってきました。APUは間違いなく最も良い大学の一つです。自信をもってお勧めします。

自己紹介

私はイングランド出身で、これまで12年間、韓国、ポーランド、ウクライナ、中国、そしてイングランドなど、さまざまな国で英語教育に携わってきました。教育活動と並行して、執筆活動にも力を入れています。学部・修士課程ではクリエイティブ・ライティングを専攻し、将来的には同分野で博士号を取得したいと考えています。得意分野はサイエンス・フィクション、ファンタジー、ホラーで、現在はコズミック・ホラーの短編集を執筆中です。2022年よりCLEで英語を担当しており、SALCではオープンマイクやクリエイティブ・ライティングのワークショップなどの企画・

運営にも取り組んでいます。自身の研究を学生支援に活かし、安心できる学習環境づくりや、創造的思考を育むコミュニティの形成に貢献したいと考えています。また、多様性・公平性・包括性の促進の取り組みにも強い関心を持っており、キャンパス内外でLGBTQ+コミュニティの支援活動に積極的に関わっています。



言語教育センター
GIACOMELLI Joely 嘱託講師

研究内容

創造的な活動が、どのように世界との関わりやグローバル市民としての姿勢を育むのか、そしてクリエイティブ・ライティングはどのように英語学習に役立つのかを研究しています。

メッセージ

APU学部生

APUでの学生生活を通して、ぜひ多くのことに挑戦してほしいです。サークルに参加したり、マルチカルチュラル・ウィークのイベントに足を運んだり、SALCを活用したり、世界各地から集まる学生たちと交流したりしてください。異なる文化や背景を持つ人々と関わることは、人生における大きな特権のひとつです。相手の視点を尊重し、自分自身の考えを柔軟に見直す姿勢を大切にしてください。

APU大学院生へ

大学院では、学びを深め、自分の人生の方向性について熟考することができます。もちろん、考えが変わっても構いません。たくさん学び、今まで以上に書物を読み、そしてキャンパスで行われるさまざまなイベントにも積極的に参加してみてください。APUで出会う人々は、これからのあなたの人生に長く影響を与えてくれる存在になるかもしれません。

APU志望受験生へ

APUは、日本の中でも非常に特色のある大学です。国内学生と国際学生がちょうど半数ずつ在籍しており、キャンパス全体が実に多文化的な環境にあります。語学力を伸ばしたい方、そしてさまざまな国の人々とつながりたい方にとって、APUはまさにぴったりの場所です。

フレンドリーでクリエイティブな発想をする人たちとつながりたいなら、私がSALCで開催しているイベントにぜひ参加してみてください。イベントの最新情報や詳細は、私のInstagramをフォローしてご覧ください。

OPEN MIC

- * Once a quarter
- * An inclusive safe space for all
- * Let your creativity shine
- * Answer quiz questions for prizes







CREATIVE WRITING

- Twice a quarter
- Focus on speculative fiction
- Read flash fiction and short stories
- Publish your writing

科研費申請スケジュール



2027年度に向けての申請スケジュールは以下のとおりです。

7/8 (水) 12:30-14:30 科研費トーク&カフェ

※参加申込：[科研費トーク&カフェ 参加申込書フォーム](#)

7/14 (火) JSPS 2027年度科研費公募開始

**7/17 (金) 18:00-20:00 学外科研費セミナー (主催：大学コンソーシアム京都)
第2回テーマ「採択率を高める科研費申請の戦略」※日本語のみ**

<https://henews.consortium.or.jp/event/event-33072/>

※受講希望者は7/7までに、kakenhi@apu.ac.jpにご連絡ください
(受講費1,000円はオフィスが負担します)

7/22 (水) 12:30-13:30 学内公募説明会

13:30-14:30 科研費カフェ

※参加申込：[科研費トーク&カフェ 参加申込書フォーム](#)

8/5 (水) 正午 学内査読希望者の研究計画調書提出一次締切

8/20 (木) 正午 オフィスチェック希望者の研究計画調書提出一次締切

学外レビュー (研究支援機構) 利用者の最終入稿日 ※目途

9/4 (金) 正午 学内最終締め切り ※厳守！

9/17 (木) JSPS 2027年度科研費公募締切